

平成 25 年 10 月 23 日

平成 25 年版 ICT 国際競争力指標の公表

総務省では、我が国の ICT 産業の国際競争力の強化に資するため、平成 20 年から ICT 国際競争力指標を策定しています。今般、6 回目となる平成 25 年版 ICT 国際競争力指標を取りまとめましたので、公表します。

1 ICT 国際競争力指標の構成

平成 25 年版 ICT 国際競争力指標は、各種調査会社等による 2012 年（平成 24 年）実績値（入手困難な場合は 2011 年（平成 23 年））を活用して、①日本企業の世界市場における競争力（企業競争力）の観点から、各製品・サービスの品目ごとの日本企業の「市場シェア」を、②企業立地における国としての競争力（輸出競争力）の観点から、各製品の品目ごとの日本の「輸出額シェア」を、それぞれ数値により示し、我が国 ICT 産業の国際競争力を明らかにしたものです。

【参考】 市場シェア：世界市場に占める当該国（地域）企業の売上高シェアを「サービス」、「端末・機器」及び「デバイス」（8 分野 38 品目）別に算出（日本国外にある日本企業の売上高も含まれる。）

輸出額シェア：世界全体の輸出額に占める当該国（地域）の輸出額のシェアを「端末・機器」及び「デバイス」（7 分野 20 品目）別に算出（多国籍企業の日本からの輸出を含む。なお、貿易財を対象とするため、サービスに関する品目は除く。）

2 結果の概要

(1) 全体推移（市場シェア、輸出額シェア）（平成 21 年版→平成 25 年版）

平成 25 年版における世界全体の市場規模は 3 兆 469 億ドル（対 21 年版比較で 6.6% 増）で、**我が国企業の市場シェアは 12.3%**となっている。平成 21 年版からの 5 年間では、アジア太平洋地域の企業シェアが増加（対 21 年版比較で 3.5pt 増）している。

一方、世界全体の総輸出額は 1 兆 2,561 億ドル（対 21 年版比較で 24.7% 増）で、**我が国の輸出額シェアは 4.3%**と北米及び欧州と同様にシェアが減少しているが、反面、アジア太平洋地域は年々シェアの拡大を続けている。

ICT 産業全体では、企業競争力、輸出競争力ともアジア太平洋地域の台頭が見てとれる。

(2) 企業競争力（市場シェア）

ア 日本の企業競争力の強み・弱み

指標の対象となっている全 38 品目中、日本の企業競争力が強い品目（シェア 25% 以上）は 8 品目、企業競争力が弱い品目（シェア 5% 以下）は 9 品目となっている。

総じて、「サービス」は市場シェアは大きくないが、シェア微増傾向にある品目が多く、「端末・機器」及び「デバイス」はシェア減少傾向にある品目が多い。

<日本の企業競争力が強い品目（シェア25%以上）の例>

- ・ 「DVD/Blu-rayレコーダ」（平成21年版66.3%→平成25年版74.1%）、「コピー機」（同65.5%→68.2%）及び「プリンタ」（同33.5%→41.4%）は高いシェアを維持しているが、世界の市場規模は対21年版比で縮小。
- ・ 「オプトエレクトロニクス※1」（同52.5%→44.4%）及び「ディスクリート半導体※2」（同41.2%→38.8%）は世界の市場規模が増加しているが日本企業の市場シェアは縮小。

※1 オプトエレクトロニクス：LED、ソーラーモジュール等光学素子のこと。

※2 ディスクリート半導体：トランジスタ、コンデンサ等単機能の半導体素子のこと。

<日本の企業競争力が弱い品目（シェア5%以下）の例>

- ・ 「携帯電話機」（同11.4%→3.6%）はシェアの減少が著しい。
- ・ 「インフラ・ソフトウェア」（同2.4%→5.0%）及び「モバイルインフラ」（同2.4%→4.6%）は増加。

イ 世界市場と日本企業の市場シェアの動向

（ア）世界市場と日本企業の売上高の動向

世界市場と日本企業の売上高を平成21年版と平成25年版の各品目の売上高の増減率で比較すると、「サービス」分野の品目の多くは世界の市場規模、日本企業の売上高ともに増加傾向にあり、市場が伸びていることがうかがえる。

一方、「端末・機器」分野は、世界市場が縮小傾向にある品目が多い。

また、「デバイス」分野は、世界市場は拡大傾向にあるが、日本企業の売上高は世界市場ほど伸びていないものが多い。

（イ）世界市場と日本企業の市場シェアの動向

世界市場の平成21年版から5年間の増減率と日本企業の市場シェアをみると、レイヤー別では「サービス」分野と「デバイス」分野が成長基調にあることがうかがえる。「デバイス」分野の中では、「光ファイバ」や「携帯電話用液晶デバイス」、「ディスクリート半導体」などが日本企業の市場シェアも高くなっている。

一方、日本企業の市場シェアが高い「プリンタ」、「コピー機」も、世界市場では伸び悩んでいることがみてとれる。

（3）輸出競争力（輸出額シェア）

ア 日本の輸出競争力の強み・弱み

我が国の輸出額シェアは、一部の品目を除いて10%以下のシェアにとどまる。特に「端末・機器」ではシェアが5%に満たないものも多い。

品目別にみると、全20品目中、5品目で前年と比較してシェアが増加し、13品目でシェアが減少している。

「端末・機器」、「デバイス」とともに、平成21年版と比較して輸出額シェアが増加傾

向にある品目はわずかで、増加幅も極めて小さい。ほとんどがシェア減少傾向にあり、減少幅も大きい。

<日本の輸出競争力が強い品目（シェア 10%以上）>

・「デジタルカメラ」（25.0%）、「ディスプレイ半導体」（12.0%）の 2 品目のみ。ただし、いずれもシェアは年々減少。

「デジタルカメラ」（平成 21 年版 36.4% → 平成 25 年版 25.0%）

「ディスプレイ半導体」（同 14.8% → 12.0%）

<日本の輸出競争力が弱い品目（シェア 5%以下）の例>

・全 20 品目の 75%に当たる 15 品目が該当。

「携帯電話機」（同 0.2% → 0.0%）

「デスクトップ PC」（同 0.5% → 0.5%） など

イ 世界の総輸出額と日本の輸出競争力

・平成 21 年版からの 5 年間で世界の総輸出額が増加した 12 品目のうち、日本が一定の輸出額シェアを維持した品目は、「デスクトップ PC」（同 0.5%→0.5%）のみ。一方、日本が大きく輸出額シェアを減少させた品目（対平成 21 年差▲5.0pt 以上）は 3 品目で、全品目でアジア太平洋地域のシェアが増加。

維持した例 : プリンタ（日本 10.5%→8.3%、アジア太平洋地域 56.5%→64.4%）

大きく減少した例 : コピー機（日本 7.4%→1.9%、アジア太平洋地域 77.7%→86.4%）

3 別添資料

平成 25 年版 I C T 国際競争力指標

連絡先: 情報通信国際戦略局

情報通信政策課情報通信経済室

担 当 : 佐藤課長補佐、石橋統計企画係長

電 話 : 03-5253-5744

F A X : 03-5253-6041